

# 大分県におけるハラアカコブカミキリの生態並びに防除の試み(1)

—— 定着・繁殖の確認と分布現況 ——

大分県林業水産部 上 村 豊 治・萩 原 幸 弘  
友 成 明 夫・佐 藤 真 一  
織 田 泰 昌・小 野 裕 一  
黒 木 隆 典・河 室 雄 二 郎  
桑 野 功

## 1. はじめに

全国一を誇る大分県のシイタケ生産において、昭和49年頃から発生している害菌が問題になっている矢先、今度はわが国では長崎県対馬にしか分布しないとされていたハラアカコブカミキリ (*Moechoitypa. diphyssis* PASCOE …別名ベニフカミキリ、以下本種という。)によるシイタケ原木、ほだ木の被害が発見され、関係者はその防除対策に頭を悩まされている。

本種は最近、定着、繁殖していることが明らかになったので、その現況を報告する。

## 2. 発見の経緯と定着地区

昭和52年8月30日、椎茸生産技術指導の折、直入町梶屋地区の吉野友成氏所有の、クヌギ、コナラの小径木(52年春伏込)の楕木に異常発生している害虫(幼虫及び蛹)を発見、8月31日直入町冬田地区岩屋忠義氏の被害届出により現地調査の結果、梶屋地区のものと同種であった。そして9月3日になって羽化個体を得られ、本種であることを確認した。

確認と同時に本種の被害ほだ木の分布調査をした結果、県下での定着、繁殖地は直入郡直入町を中心に、久住町、大野郡朝地町、大分郡野津原町の一部に及んでいることが明らかとなった。(図-1)

被害地域の伏込量は直入郡久住町 1,200m<sup>2</sup>、直入町、5,100m<sup>2</sup>、大野郡朝地町 600m<sup>2</sup>、大分郡野津原町 800m<sup>2</sup>で、被害量は625m<sup>2</sup>に達し、特に直入町においては、激害をうけているものが多々みられた。(表-1)

虫の密度の高いところでは伏込原木本数率80%材積率84%のところがあった。全体的に5~6cm以下の小径木の産卵、加害が集中している。

被害原木はクヌギ、コナラで激しい被害がみられ、その他カシ、イヌシデ等にも被害がみられる。

本種の分布は対馬、朝鮮半島、中国北部、東シベリア、済州島とされており、福岡市内、徳島、大阪で、過去に成虫が採集された記録があるが、その定着は不明とされている。

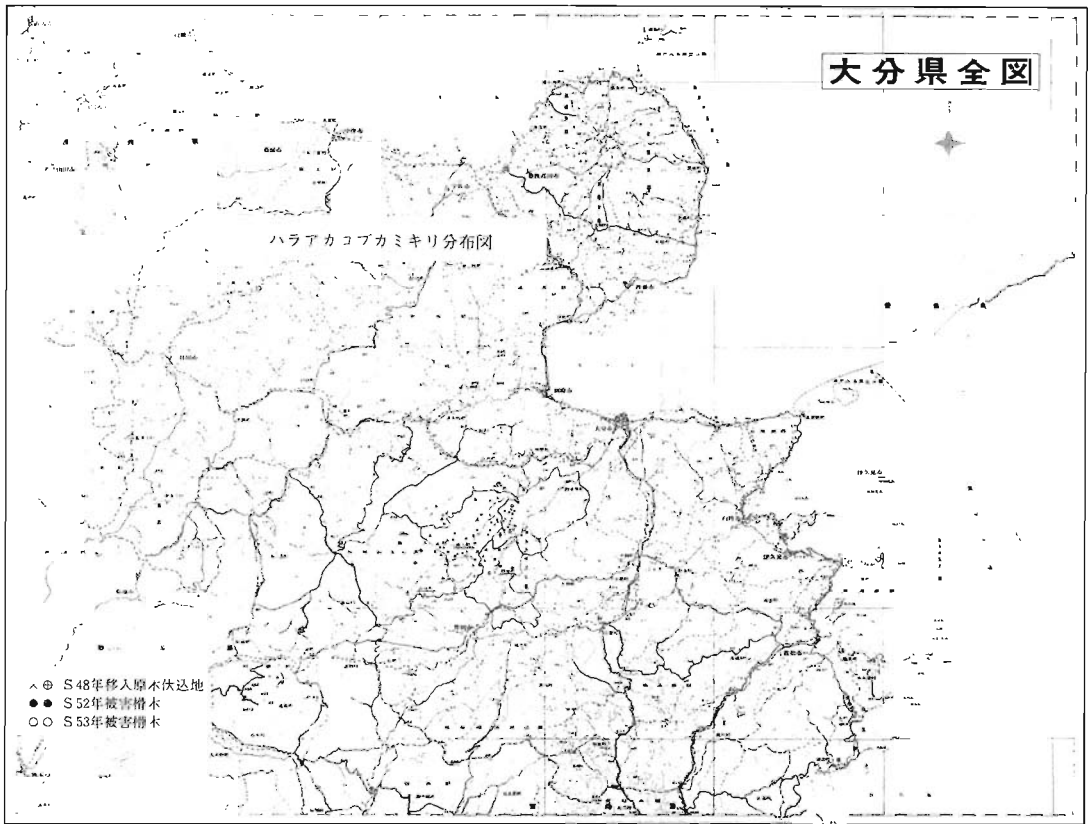
本種は県下にもともと分布していたとは考えがたいが、2~3年前のほだ木でも本種の成虫脱出が確認されたことから、かなり以前から定着、繁殖している

ことが考えられる。なお、県外からの椎茸原木の移入の事例として、直入町において、対馬より昭和48年3月に50m<sup>2</sup>、4月に60m<sup>2</sup>、6月に110m<sup>2</sup>、移入されている。

かなりの範囲に分散、定着しているにもかかわらず発見が遅れたことは、これまでシイタケ栽培者の関心を引かぬほど低密度で経過していたことが考えられ、一つには52年7月の降雨量が少なかったため、シイタケ菌糸のまん延条件が悪くなり、その間を縫って産卵された個体のほとんどが発育を完了し、異常発生事態を招いたものと判断される。

## 3. 分布拡大状況

成虫は羽化脱出後、クヌギなどの主として枯木の外皮を後食して活力を得て飛翔分散することとなる。シイタケ原木伏込地における被害調査から、本種の分散範囲を推察すると図-1のとおりである。この結果、大分郡庄内町での被害が新たに加わり、ある地点で前年の伏せ込み原木での繁殖はみられないのに、当年原木で繁殖が認められた状況、すなわち、被害の面的広がりから、成虫の分散速度を推察すると0.5~2km程度となる。大分県昆虫同好会々員の採集では、昭和52年8月に、久住の大船山山頂での記録があり、気流に乗れば、相当大きな移動が考えられる。むろん県下での定着から考えても明らかのように、被害材の移動に伴う人為的な分布拡大が最も恐れられることであり、今回の事例をいましめとして分布拡大防止に努めなければならぬ。



表一 ハラアカコブカミキリの被害量

町村別	昭和52年度		昭和53年度	備 考
	被害地域 伏込量	被害量 被害量	被害地域 伏込量	
久住町	1,200 <sup>m</sup>	100 <sup>m</sup>	2,500 <sup>m</sup>	昭和52年度、被害量はハラアカコブカミキリの寄生が見込まれる。檜木材積で表示
直入町	5,100	500	9,500	
朝地町	600	15	1,500	
野津原町	800	10	1,500	
庄内町	0	0	1,000	
計	8,700	625	16,000	

(注) シイタケ原木、檜木について調査

参考文献

- 1) 小島正三, 林 匡夫: 原色日本昆虫図鑑 1. カミキリ編 139, 211, 保育社, 1969
- 2) 中根猛彦, 大森一夫, 野村 鎮・黒沢良彦: 原色昆虫大図鑑 第2巻(甲虫編) 300~308 北隆館, 1963
- 3) 森本 桂, 安藤正武, 藤本幸夫・菌草, 24(9) 20~23, 1978
- 4) ハラアカコブカミキリムシ大分県下に定着, 繁殖, 一現地からの速報一大分県林業水産部, 萩原幸弘ら, 森林防疫No. 316, 1978, 7 (さきに報告した森林防疫No. 316, 7の内昭和47年春は誤りで昭和48年春に訂正します。)